

# 地域についてのアンケート調査結果報告書

## (小学生、中学生、高校生、大学生等)

### 【わかりやすい版】

## I 調査概要

### 1. 調査の目的

本調査は、令和5年度に「第5期地域福祉計画」を策定するに当たり、西東京市子ども条例等を踏まえ、子どもや若者に対し、地域福祉に係る意見や活動状況などをお聞きし、今後の計画策定に反映するため、実施しました。

### 2. 調査設計

種類	①大学生等	②小・中学生・高校生
対象	大学生等若者を対象に実施した緊急食料支援への来場者	小・中学生：市内小学校5年生、中学校2年生（全校（各校1クラス）） 高校生：市内高等学校2年生（全校（各校1クラス））
配付・回答	大学生等若者を対象に実施した緊急食料支援における調査票の直接配付、回答	学校を通じ、調査票の直接配付、回答
調査期間	令和4年11月12日	令和5年1月16日～翌月3日

### 3. 回答結果

種類	①大学生等	②小・中学生・高校生		
		小学生	中学生	高校生
配付	119件	615件	346件	193件
回答	112件	577件	315件	106件
回答率	94.1%	93.8%	91.0%	54.9%



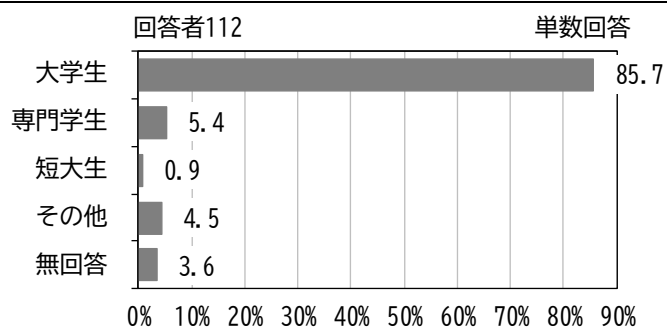
## Ⅱ 調査結果

### 1. 大学生等調査

問1 あなたについて教えてください。

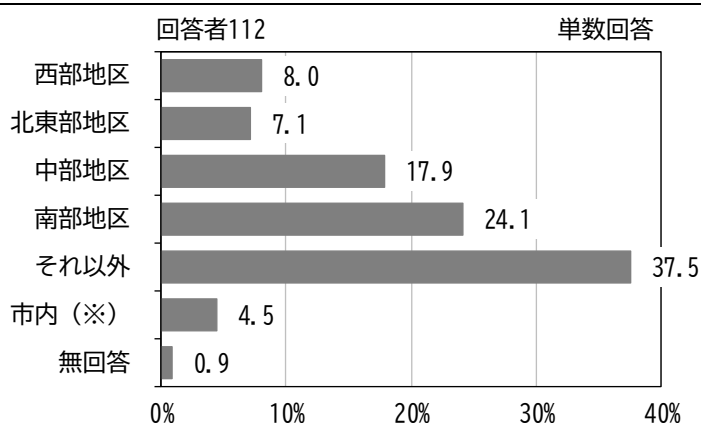
#### ■区分

あなたについて教えてくださいについて、「大学生」(85.7%)が最も多く、次いで「専門学生」(5.4%)、「その他」(4.5%)となっています。



#### ■住民票の所在地

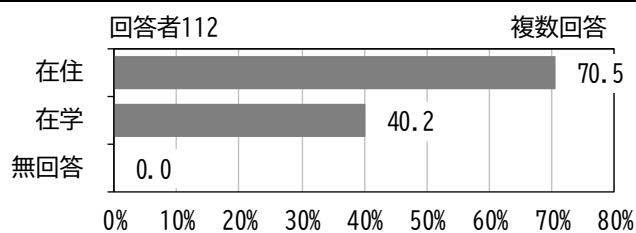
あなたについて教えてくださいについて、「それ以外」(37.5%)が最も多く、次いで「南部地区」(24.1%)、「中部地区」(17.9%)となっています。



※市内とは、西東京市のみ回答があった方の割合です。

#### ■市内に(在住・在学)

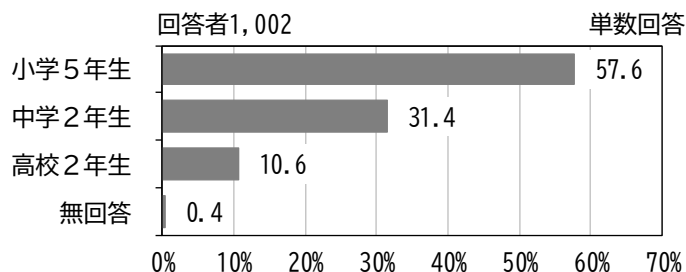
あなたについて教えてくださいについて、「在住」(70.5%)が最も多く、次いで「在学」(40.2%)となっています。



## 2. 小学生・中学生・高校生調査

### 問1 学年を教えてください。(1つに○)

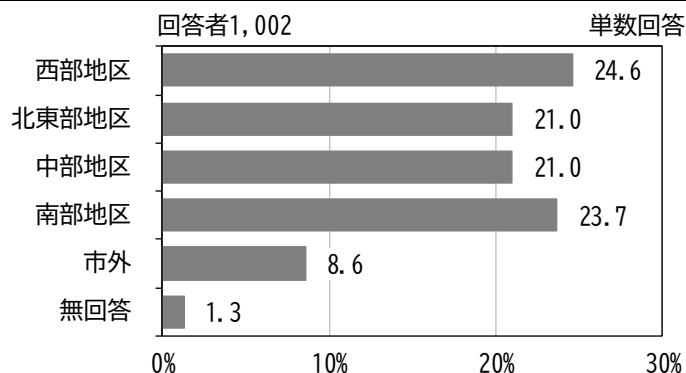
学年を教えてくださいについて、「小学5年生」(57.6%)が最も多く、次いで「中学2年生」(31.4%)、「高校2年生」(10.6%)となっています。



### 問2 現在、あなたの住んでいる地区を教えてください。(1つに○)

現在、あなたの住んでいる地区を教えてくださいについて、全体では「11～15年」(48.0%)が最も多く、次いで「6～10年」(24.0%)、「3～5年」(7.7%)となっています。

学年別にみると、小学5年生は「南部地区」(27.0%)、中学2年生は「西部地区」(31.1%)、高校2年生で「市外」(81.1%)が最も多くなっています。また、高校2年生で“市内”の割合は15.1%となっています。



### ◆クロス集計:学年別

%	合計	西部地区	北東部地区	中部地区	南部地区	市外	無回答
全体	1,002	24.6	21.0	21.0	23.7	8.6	1.3
小学5年生	577	24.4	23.7	23.4	27.0	-	1.4
中学2年生	315	31.1	22.2	21.3	25.1	-	0.3
高校2年生	106	6.6	1.9	4.7	1.9	81.1	3.8

### Ⅲ 調査間比較

○地域福祉に係るアンケート調査のうち、「大学生等対象」、「小学生、中学生、高校生対象」、「市民（18歳以上）対象」について、調査間比較を行いました。

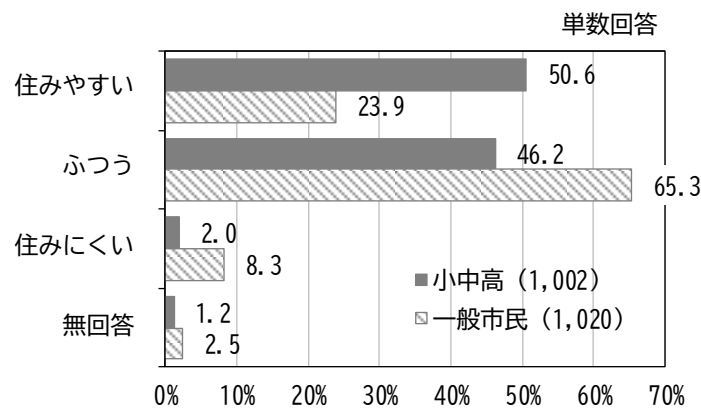
それぞれの調査を以下のように略しています。

- ・地域福祉に係るアンケート調査（大学生等）⇒大学生等
- ・地域福祉に係るアンケート調査（小学生、中学生、高校生）⇒小中高
- ・地域福祉に係るアンケート調査（市民（18歳以上））⇒一般市民

○調査によって、調査間比較に掲載している設問文及び選択肢と一部内容が異なる場合があります。

◆あなたの住んでいる地域は、住みやすいと思いますか。(1つに○)【小中高:問5、一般市民:問34】(※)

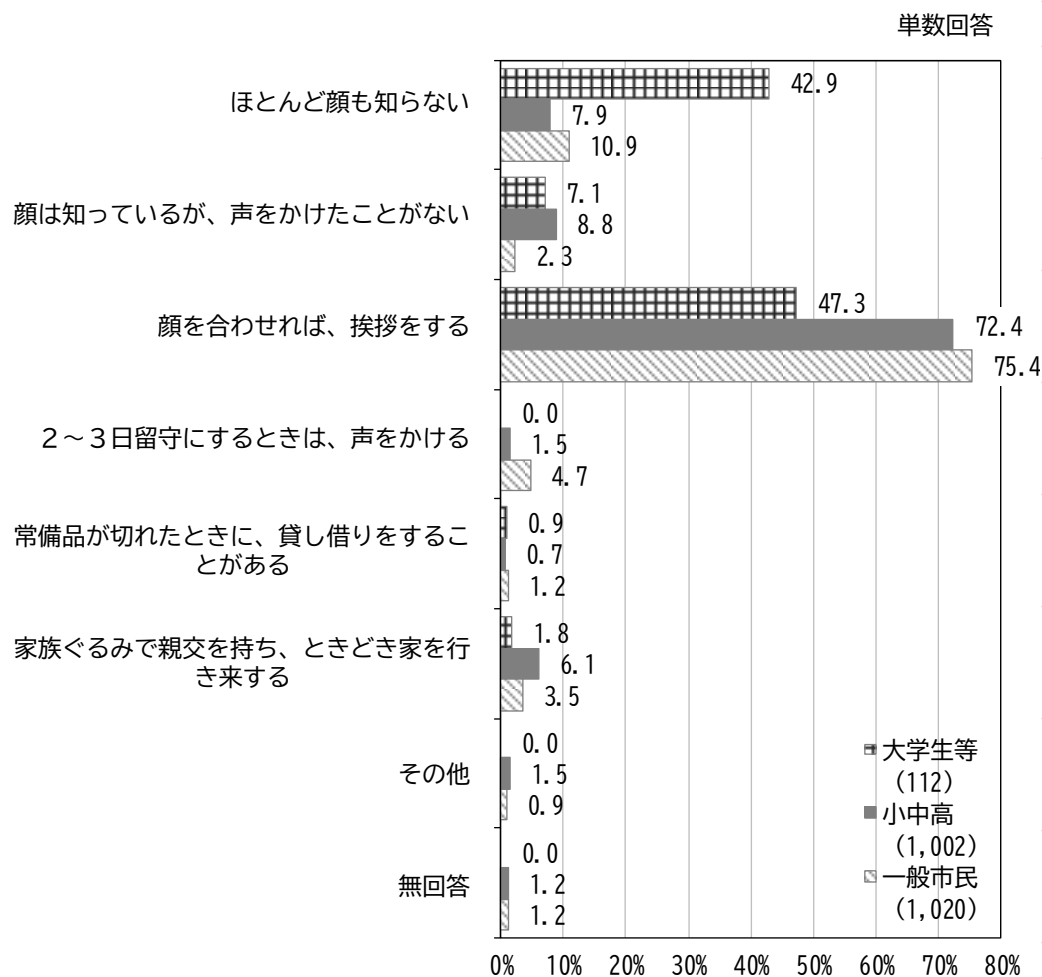
あなたの住んでいる地域は、住みやすいと思いますかについて、小中高対象は「住みやすい」(50.6%)が最も多く、一般市民対象の「住みやすい」(23.9%)を26.7ポイント上回っています。



※一般市民の設問文は、「お住まいの地域は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすいと思いますか。」

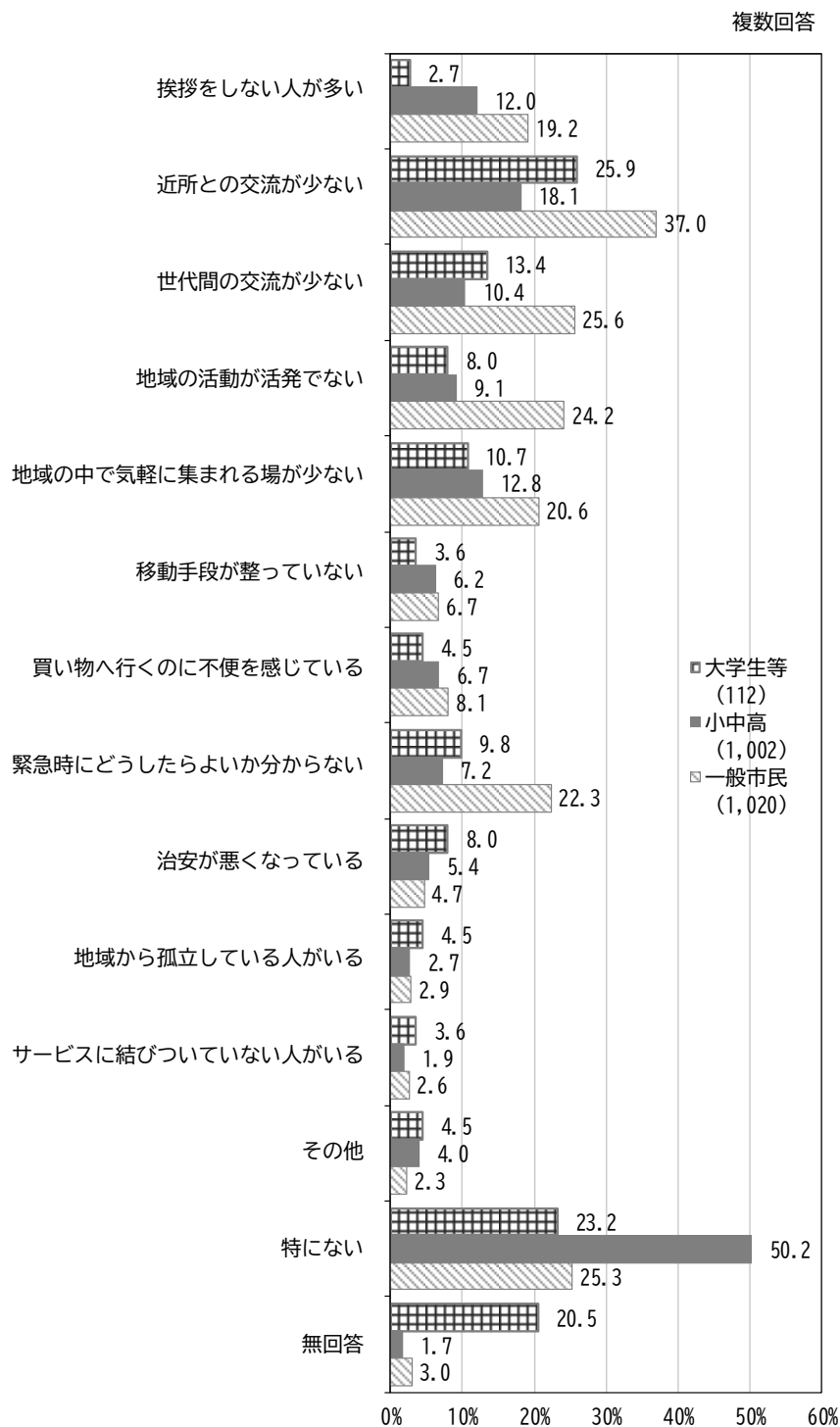
◆ふだん、近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。(主なもの1つに○)【大学生等:問3、小中高:問6、一般市民:問8】

ふだん、近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますかについて、いずれの対象も「顔を合わせれば、挨拶をする」が最も多くなっているものの、大学生等対象は5割弱に留まっており、小中高対象、一般市民対象は7割を超えています。また、大学生等対象は「ほとんど顔も知らない」がほかの対象と比べて割合が高くなっています。



◆お住いの地域で課題に感じることは何ですか。(いくつでも○)【大学生等:問7、小中高:問7、一般市民:問13】(※)

お住いの地域で課題に感じることは何ですかについて、大学生等対象、一般市民対象は「近所との交流が少ない」、小中高対象は「特にない」が最も多くなっています。また、「近所との交流が少ない」、「世代間の交流が少ない」、「地域の活動が活発でない」、「緊急時にどうしたらよいか分からない」は一般市民対象がほかの対象と比べて 10 ポイント以上、「挨拶をしない人が多い」、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」は5 ポイント以上上回っています。



※小中高の設問文は、「あなたの住んでいる地域で課題に感じることは何ですか。」

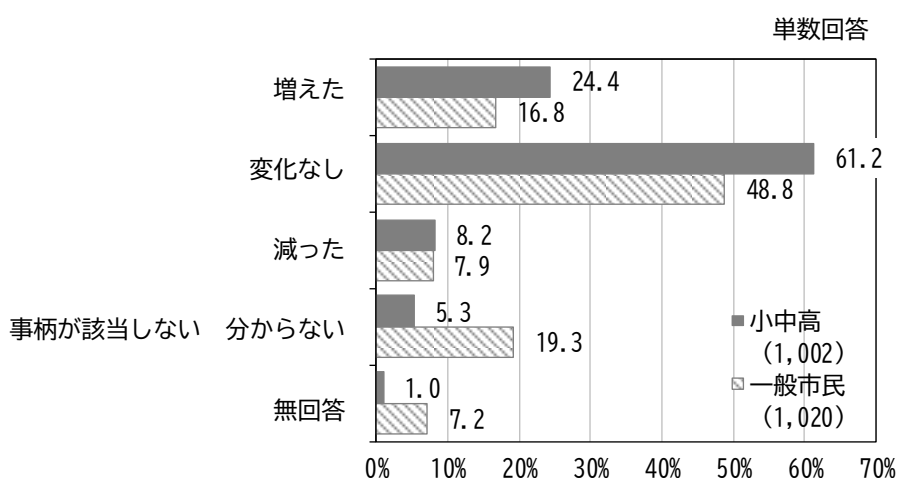
※一般市民の設問文は、「お住まいの地域に次のようなことを感じていますか。」

◆新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか（影響があった時期はいつでもよいです）。（それぞれ1つに○）【小中高:問10、一般市民:問17】(※)

※一般市民の設問文は、「新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか(影響があった時期は問いません)。」

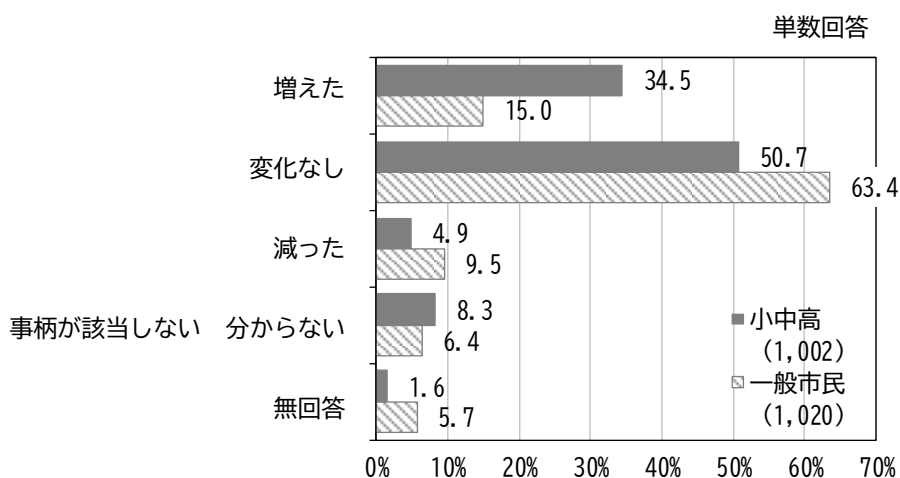
ア 勉強や学習などの時間

勉強や学習などの時間について、いずれの対象も「変化なし」が最も多くなっています。小中高対象は一般市民対象と比べて「増えた」が7.6ポイント、「変化なし」が12.4ポイント上回っています。一般市民対象は「事柄が該当しない 分からない」が小中高対象と比べて14ポイント上回っています。



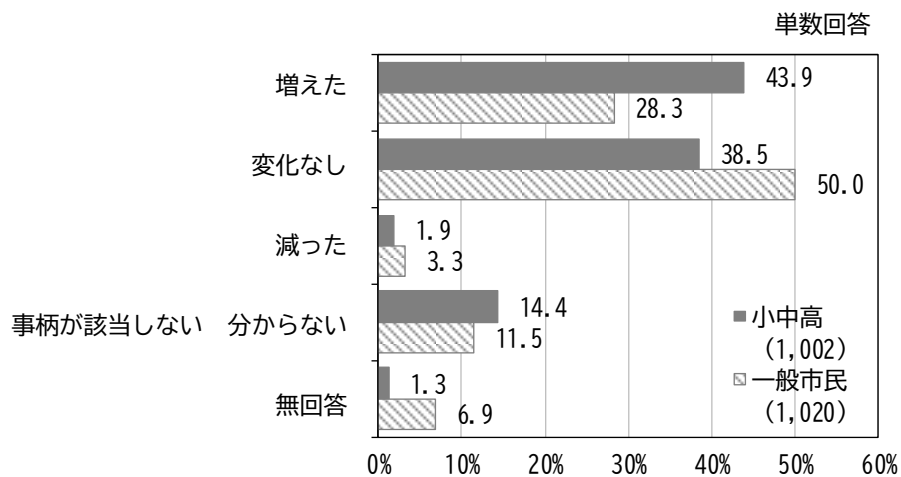
イ 人と電話で話すこと

人と電話で話すことについて、いずれの対象も「変化なし」が最も多くなっています。小中高対象は一般市民対象と比べて「増えた」が19.5ポイント上回っています。一般市民対象は「変化なし」が小中高対象と比べて12.7ポイント上回っています。



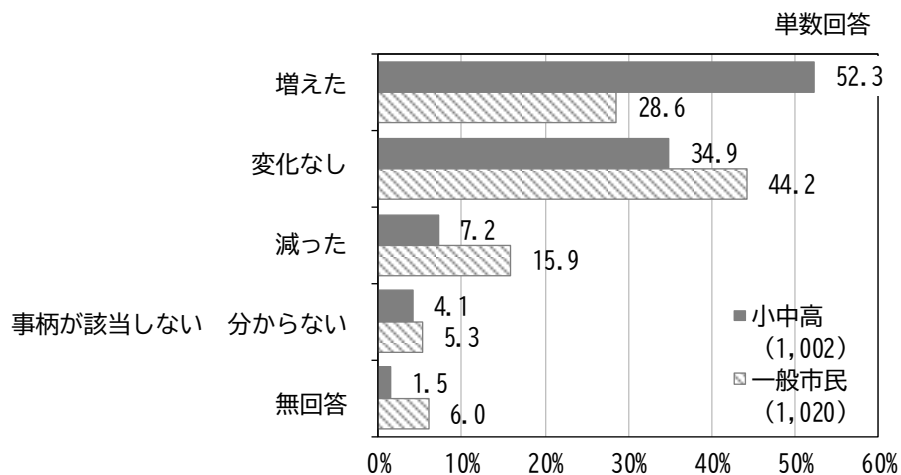
## ウ 人とLINE やチャットで話すこと

人とLINE やチャットで話すことについて、小中高対象は「増えた」、一般市民対象は「変化なし」が最も多くなっています。小中高対象は一般市民対象と比べて「増えた」が15.6ポイント上回っています。一般市民対象は「変化なし」が小中高対象と比べて11.5ポイント上回っています。



## エ 興味や関心のあることをする時間

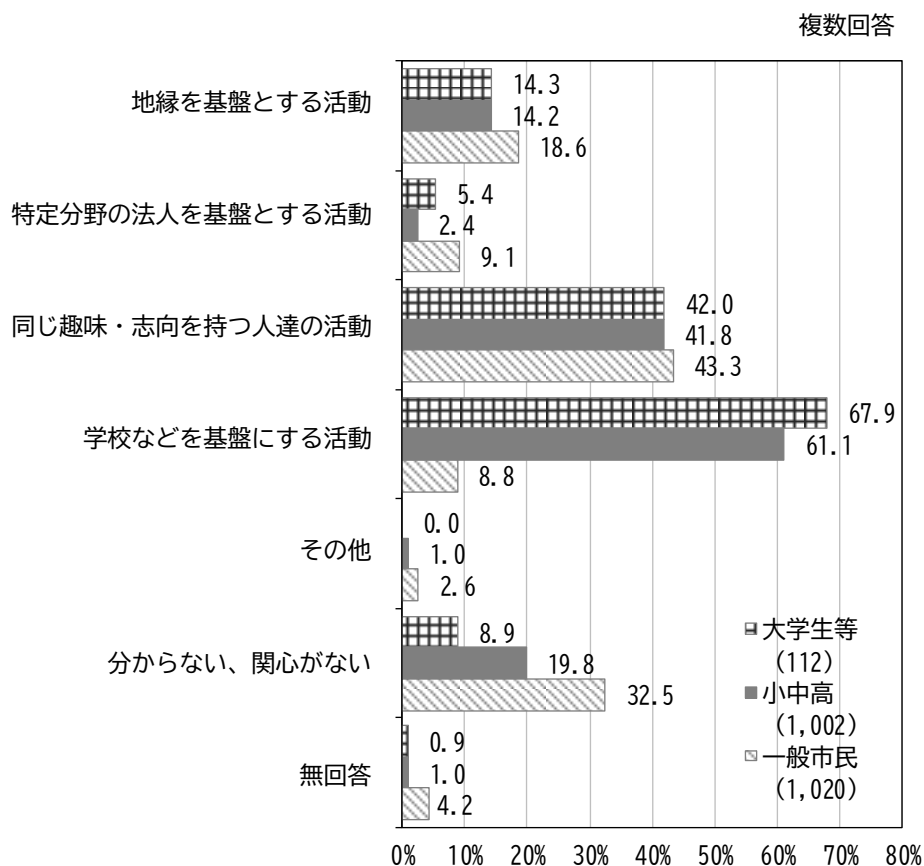
興味や関心のあることをする時間について、小中高対象は「増えた」、一般市民対象は「変化なし」が最も多くなっています。小中高対象は一般市民対象と比べて「増えた」が23.7ポイント上回っています。一般市民対象は「変化なし」が小中高対象と比べて9.3ポイント、「減った」が8.7ポイント上回っています。





◆近年は、様々な主体による地域活動・ボランティア活動が行われています。あなたが参加しやすい活動はどのような活動ですか。(いくつでも○)【大学生等:問4、小中高:問11、一般市民:問20】(※)

近年は、様々な主体による地域活動・ボランティア活動が行われています。あなたが参加しやすい活動はどのような活動ですかについて、大学生等対象、小中高対象は「学校などを基盤にする活動」、一般市民対象は「同じ趣味・志向を持つ人達の活動」が最も多くなっています。また、一般市民対象で「分からない、関心がない」がほかの対象に比べて10ポイント以上上回っています。

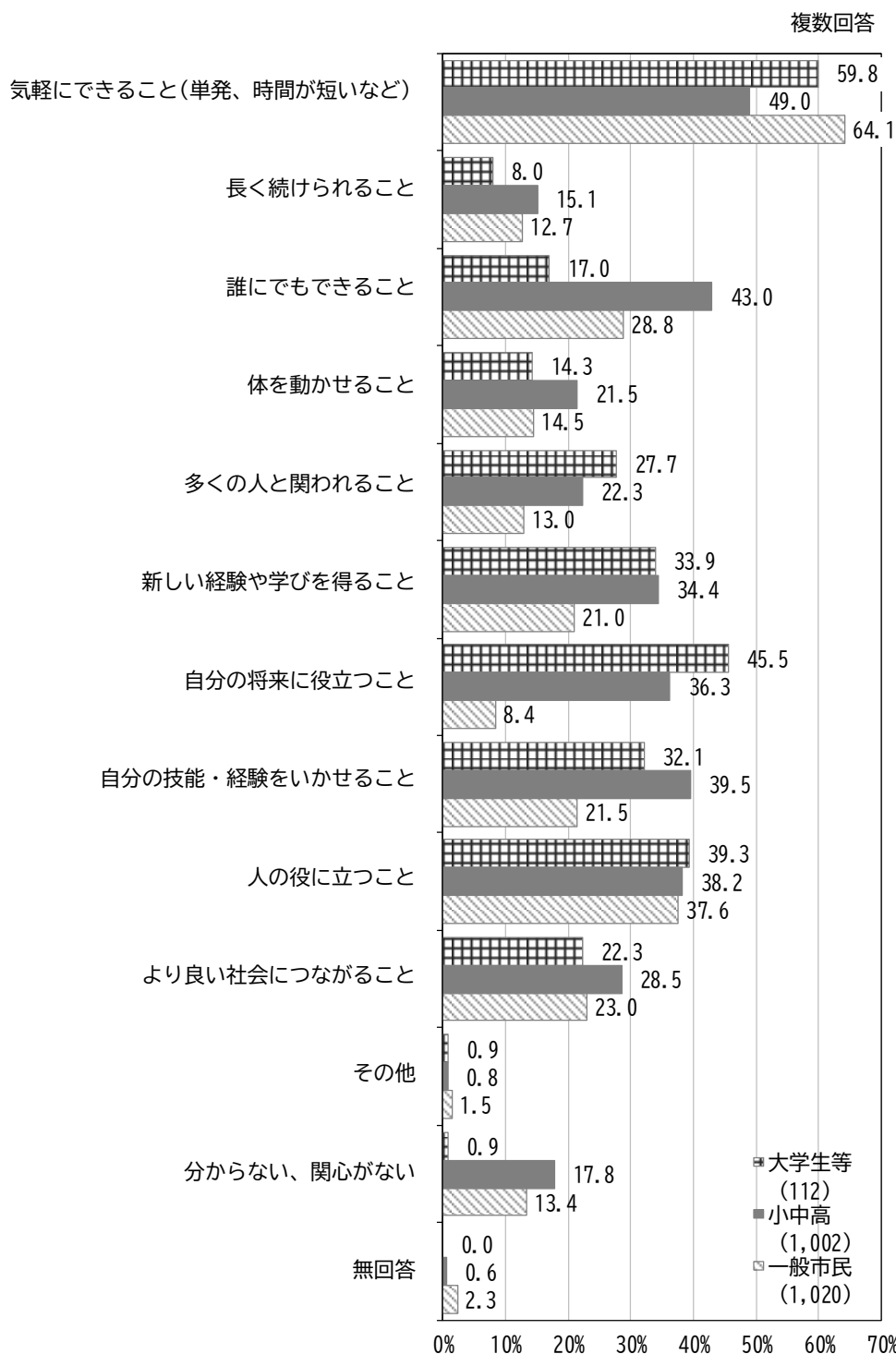


※小中高の設問文は、「あなたはどのような活動に参加しやすいと考えますか。」

※一般市民の設問文は、「次のうち、あなたが参加しやすい活動はどれですか。」

◆地域活動・ボランティア活動に参加しようとする際、どういう点を重視しますか。(いくつでも○)【大学生等:問5、小中高:問12、一般市民:問21】(※)

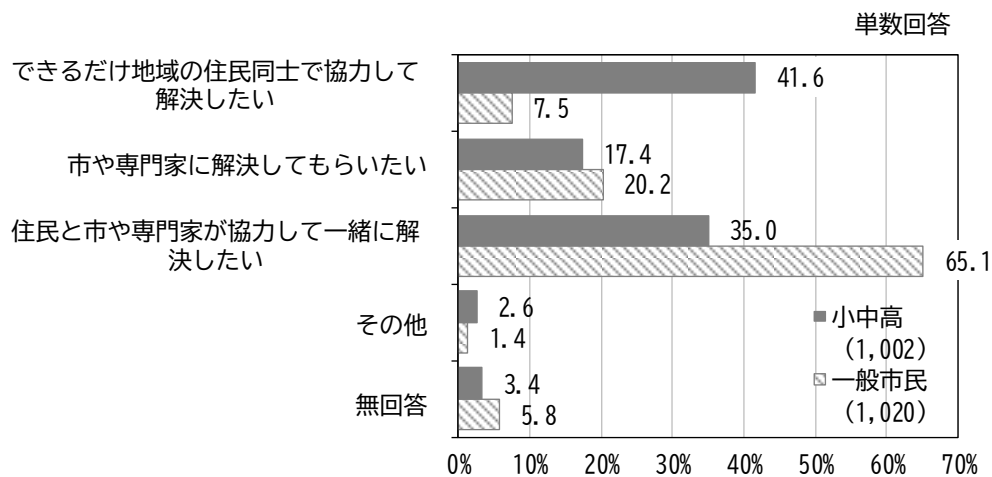
地域活動・ボランティア活動に参加しようとする際、どういう点を重視しますかについて、いずれの対象も「気軽にできること(単発、時間が短いなど)」が最も多くなっています。また、大学生等対象、小中高対象は「多くの人と関われること」、「新しい経験や学びを得ること」、「自分の将来に役立つこと」、「自分の技能・経験をいかせること」「人の役に立つこと」が一般市民対象と比べて割合が高くなっています。



※小中高の設問文は、「地域活動・ボランティア活動に参加しようとするとき、どのようなことが大事ですか。」

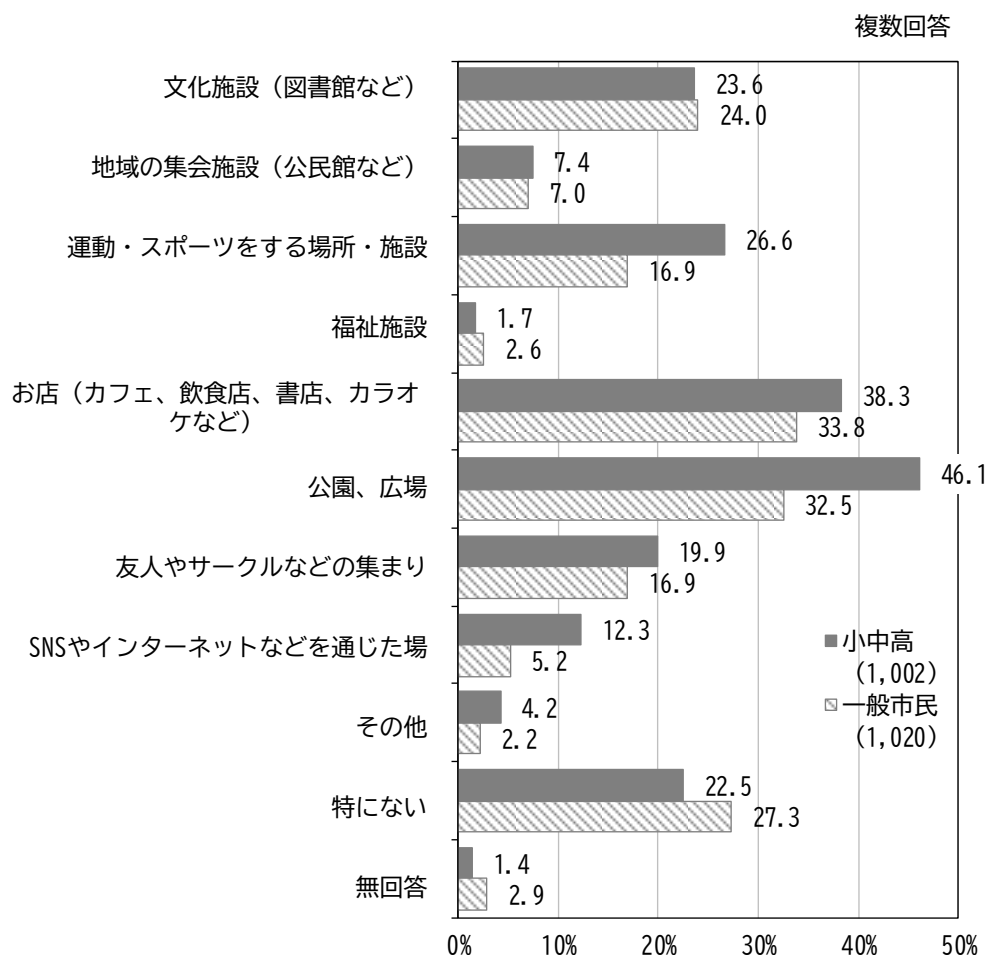
◆今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに○)【小中高:問14、一般市民:問40】

今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますかについて、小中高対象は「できるだけ地域の住民同士で協力して解決したい」(41.6%)、一般市民対象は「住民と市や専門家が協力して一緒に解決したい」(65.1%)が最も多くなっています。



◆自分の家以外で、気軽に過ごせる、あなたにとって「居心地の良い場所」は西東京市内にありますか。(いくつでも○)【小中高:問15、一般市民:問37】(※)

自分の家以外で、気軽に過ごせる、あなたにとって「居心地の良い場所」は西東京市内にありますかについて、小中高対象は「公園、広場」(46.1%)、一般市民対象は「お店(カフェ、飲食店、書店、カラオケなど)」(33.8%)が最も多くなっています。また、いずれの区分も「特にない」が2割台となっています。



※一般市民の設問文は、「ご自宅以外で、気兼ねなく過ごせる、あなたにとって「居心地の良い場所」は市内にありますか。」

## 地域についてのアンケート調査結果報告書

(小学生、中学生、高校生、大学生等)

【わかりやすい版】

発行・編集:西東京市健康福祉部地域共生課

発行年月日:令和5年3月

〒188-8666 東京都西東京市南町 5-6-13(田無第二庁舎1階)

電話 :042-420-2807(直通) FAX :042-420-2896

E-Mail:fukushisougou@city.nishitokyo.lg.jp